

科目ナンバリング		U-LAS30 10001 SJ11					
授業科目名 <英訳>	情報基礎演習 [全学向] Practice of Basic Informatics (General)				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 櫻川 貴司	
群	情報学科目群		分野(分類)	(基礎)		使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習 (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	火3/火4		配当学年	全回生
						対象学生	全学向
[授業の概要・目的]							
この授業は、コンピュータの初心者を対象とし、コンピュータとインターネットを活用するために必要な知識や技術を学ぶことを目的とする。このとき利便性をいかに享受するかだけでなく、コンピュータとインターネットに潜む危険性を理解し、安心してコンピュータとインターネットを利用できるようになるための素養を身につけることを目指す。							
[到達目標]							
情報ネットワーク社会の責任のある構成員として守るべきマナーを修得する。表計算ソフト、ワープロソフトの基本概念と大学レベルの使い方、TeXによる論文作成の、内容以外の基本を身につける。以上のような各種ソフトウェアに類似のソフトウェアの利用方法をネットなどで自分で調べて利用できる能力を身に付ける(これが特に重要)。プログラミングとは何かを理解する。							
[授業計画と内容]							
以下の各課題をそれぞれ1～2週にわたって学ぶ予定である(時間数の都合で一部割愛・変更する場合がある)。							
・情報セキュリティとネットワーク利用のマナー ・コンピュータの基本操作 (Windows および UNIX系OS) ・PCの管理、セキュリティにおける考え方 ・学術情報の探索(特に図書館) ・文書の整形と構造化(ワードプロセッサ、特にスタイルや相互参照等) ・データ分析の基礎(表計算、絶対参照、グラフ、ピボットテーブル、マクロ(味見程度)等) ・TeXによる論文作成の基本 ・Jupyter Notebookの基本 ・(学んだことを生かしつつ)WEBページの作成，サーバへのアップロード ・プレゼンテーション ・プログラミング・基礎の基礎(Julia、Python、R、Rubyから選択できる) ・数式処理(数学)ソフトの紹介							
この授業ではオフィスソフトとしてLibreOfficeを使用するなど、できるだけフリーソフトウェアを利用する。これらは無料で個人のPCなどにインストールし、使用することができる。LibreOffice以外のMicrosoft OfficeやOffice Online、Googleドキュメント等と共通する概念を学習し、それらを含めてソフトが更新されても短期間に使いこなせるようになる能力を身に付けることを目指す。							
WEBページ作成、プレゼンテーションではJupyter Notebookを利用する予定である。WEBページ作成にはWriterなどのワープロソフトも利用可能である。一部のプログラミング言語を除き、プログラミングは使いやすいJupyter上で行う予定である。							
						情報基礎演習 [全学向] (2)へ続く↓↓↓	

情報基礎演習 [全学向] (2)

[履修要件]

所属学部のカラ指定の「情報基礎演習」が開講されている場合は、[全学向]の「情報基礎演習」を履修しても卒業要件を満たす科目として認められないことがあるので、各自で所属学部になず確認すること。

受講者はKUINS（本学のネットワーク）と教育用計算機システムの利用上のマナーを守る必要がある。

[成績評価の方法・観点]

トピック毎に課題に取り組み、その達成状況を評価する。また情報セキュリティと情報倫理のコースウェアの受講を単位取得の条件とする。課題の評価基準は、設定した要件が守れているかどうか、授業で学んだポイントを理解できていることが提出物から読み取れるかどうか、記述が明解かどうかなどである。

[教科書]

資料を配付。

[参考書等]

（参考書）

ブライアン・カーニハン 『教養としてのコンピューターサイエンス講義 第2版』（日経BP (2022/4/28)）

適宜指示する。

（関連URL）

<https://www.stdio.h.kyoto-u.ac.jp/jugyo1/enshu/>(授業のホームページ)

<http://www.stdio.h.kyoto-u.ac.jp/jugyo1/enshu/>(上のURLが利用できない場合こちらを指定してください)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前に参照可能になっている資料について予習することが望ましいが、必須ではない。授業で出された課題をこなすために授業外での学習が必要となることが多い。

[その他（オフィスアワー等）]

設備の関係上、対面受講者の人数制限を設ける場合がある。状況によりオンライン授業を併用する。

授業の一部として民間資格であるドットコムマスターの受験を計画している。

希望者はBYOD方式で自分のノートPCにより演習を行うことも可能。

その場合、十分に充電したノートPCを持参すること。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。